

□ アナリスト週間相場予想

	原油 Oil	ガソリン Oil	灯油 Oil
江崎			
西			

Pick up News

- [注目スケジュール]
 7/4 米国休場 (独立記念日)
 7 米商品先物取引委員会 (CFTC) 建玉明細
 洞爺湖サミット (~7/9)
 9 石油連盟週報
 米エネルギー情報局 (EIA) 週間在庫
 10 国際エネルギー機関 (IEA) 石油月報
 11 CFTC建玉明細

□ テクニカル分析 (担当: 西 勝之)



チャートはNY原油日足にボリンジャーバンドを被せたものである。今週に入ってから2Σ近辺まで上髭を引いた日足が多かったが今朝入電(7/2取引分)のチャートでははっきりした陽線で高値更新しており強さを伺わせる。しかしながら注意すべきは取組高が徐々に減少に向っている事であり、新規の資金が流入している可能性は低いという点である。ファンドの規制強化がよく聞かれるが、これはチャートの補助指標にも現れているといつてよいだろう。さて、当方アイコンは全て緩やかな強気としているが、やはりこれだけの高値圏にあってもまだショート筋の撤退が緩やかであり、急激な取組減が確認できない。よって踏み上げがはっきり確認できるまでは弱気すべきではないだろうと感じる。そしてここ数週間の当方の方針は変わらず。日計りもオーバーナイトもクラックの小さいガソリンの買いを軸にしながらヘッジに原油を上手く使っていきたい。(7/3 15:00現在)

□ ファンダメンタル分析 (担当: 江崎 和弘)

原油高は抑制したいが手の施しようがない、まさにお手上げ状態の中で、NY原油相場はまたしても史上最高値を更新した。NYMEXでは証拠金の引き上げが行われているが、今のところ効果は見られない。これまで投機筋は規制強化に備えてポジションを縮小してきており、皮肉にも買い余力を蓄えている状態との見方も成り立つ。世界需要が下方修正されても、供給の伸びが限られるとして買われ、米国需要の低下が数字上で確認されても、製品在庫ではなく原油在庫の水準に焦点を合わせて買われ、ドル安が進めば他通貨から見れば割安として買われる。

一体どうすれば原油高を封じることができるか。消費国は供給量が確保されていないことが原因とし、OPECは投機筋の動きや消費国の精製設備の問題を指摘する。これも従来構図のまま、解決策はなかなか見えてこない。

もはや金融商品化したしまった原油相場の先行きは、ドル相場の動きとの相関が極めて強くなってきている。その為替に関しては、今晚(7/3)のECB理事会での政策金利発表およびトリシェ総裁会見、そして米雇用統計への関心が高く、内容次第で振れ幅を拡大させるものと見られている。金利差を背景とすれば、ユーロが引き続き買われやすい地合いにあり、ユーロ/ドルは1.60ドル乗せから史上最高値を伺う展開も想定されよう。こうなれば、もはや原油高を止めるのは難しくなる。買うにもリスク、売るにも売れない、高値圏での難しい相場が続くそう。

なお、洞爺湖サミット(7/7~9)では何かしらのコメントが発せられようが、これがすぐさま相場に影響を与えるとは考えられていないようだ。代替エネルギー、第2世代バイオエタノールと、長い目で見れば需要は置き換わって行くのであろうが、それまでにはコンセンサスとなっている150ドル乗せが見られる可能性が高いものと考えておきたい。

◆ 添付されている『取引の重要事項』をかならずご確認ください。

▼商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は、相場の変動により利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、取引本証拠金の額に比べて約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、預託した取引証拠金の額を上回る損失が発生することがあります。

▼取引証拠金とレバレッジについて

商品先物取引は委託に際して取引証拠金の預託が必要となります。お取引を始める際に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)あたり13,000円から210,000円でお取引いただけます。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の約15倍から約40倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。
※上記取引証拠金は2008年7月1日現在の金額です。

▼取引手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最低取引単位(1枚)あたり1,154円(往復)から18,270円(往復)となります。
※上記委託手数料は2008年7月1日現在の金額です。

▼自己判断

この資料は投資の参考となる情報提供を目的とするものです。投資の決定はご自身の責任と判断でなされますようお願い申し上げます。

※エイチ・エス・フューチャーズは日本商品先物取引協会に加入しております。
※当社の企業情報に関するディスクロージャー資料は当社(本社・支店及びホームページ)又は、日本商品先物取引協会(本部・支部及びホームページ)で閲覧できます。

※お取引に関する苦情・ご相談は、下記の窓口にて承っております。

エイチ・エス・フューチャーズ 苦情相談センター

TEL: 0120-50-4288

東京都新宿区西新宿5丁目3番2号

日本商品先物取引協会 相談センター

[本部]

TEL: 03-3664-6243 東京都中央区日本橋小網町9番4号 日商協ビルディング3階

[中部支部]

TEL: 052-220-1652 愛知県名古屋市中区丸の内1-16-2 中部大阪商品取引所2階

[関西支部]

TEL: 06-6543-8502 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14 関西商取ビル4階

商品取引員 エイチ・エス・フューチャーズ株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5丁目3番2号 TEL: 03-3299-0301(代表)